

大会で田辺9日

硬式野球盛り上げたい

実行委員長の東さん

田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場で9日、硬式野球大会「第3回紀南ベースボールフェスティバルin田辺」がある。独立リーグやアマチュアの社会人硬式野球4チームが参加する。実行委員長の東拓郎さん(34)は田辺市中芳養に、大会への思いを語ってもらった。

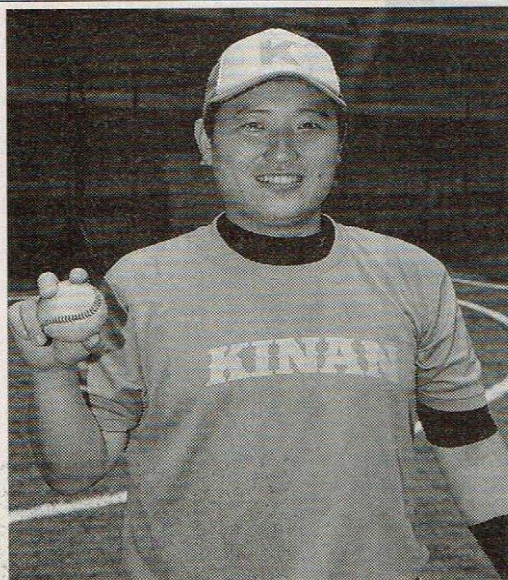
紀南ベースボールフェスタ

県内は野球が盛んで「野球王国」といわれているが、紀南地方では高校卒業を機に硬式野球から離れる人が多い。社会人になってから硬式を続ける場所がなく、大学、社会人、プロなどの試合を目の前で見る機会はあまりない。

自分自身は社会人になってから硬式野球チームの和歌山箕島球友会(有田市)に所属し、全日本クラブ野球選手権に優勝するなど得難い経験をさせてもらった。社会人になってからも硬式野球を続ける場所をつくりたい。

い。よりレベルの高い野球を見て夢を持ってもらいたい。

そんな思いから、2009年に紀南社会人硬式野球クラブを設立した。12年には田辺市民球場の解体イベントを主催。14年には第1回紀南ベースボールフェスティバルを開催し、今年で3回目を迎える。地元からは自ら監督兼選手を務める紀南社会人硬式野球ク



東拓郎(ひがし・たくろう) 南部高校硬式野球部出身。2002年から7年間、和歌山箕島球友会に所属。その間、全日本クラブ野球選手権大会優勝、社会人野球日本選手権大会に2回出場した。

ラブが参加する。来春からは、野球独立リーグ「ベースボール・ファースト・リーグ」に田辺市を拠点にした新チーム「和歌山ファイティングバズ」が参入する。同リーグの「兵庫ブルーサンターズ」が昨年のフェスティバルに参加したことがきっかけだった。独立リーグはプロを目指す選手が多く、地元で働きながら野球を続ける紀南社会人硬式クラブとは違うが、ともに紀南の硬式野球を盛り上げ、子どもたちにさまざまな選択肢を示すことができればいいと思う。

◆ 紀南ベースボールフェスティバルは、実行委員会主催、紀伊民報など後援。入場は無料。4チームがトーナメントで優勝を争う。開幕戦では、熊野高校サポーターズリーダー部が試合を盛り上げる。午前9時15分から開会式、9時半から紀南社会人硬式野球クラブ(田辺市)と兵庫ブルーサンターズ育成軍(兵庫県三田市)の試合、正午から近畿医療専門学校(大阪市)とナインフォース(奈良県)の試合がある。決勝は午後2時半から。

問い合わせは、東さん(090・7754・8014)